



令和7年9月1日

ひばり保育園

ほけんだより 9月号

9月9日は「救急の日」です。救急とは、急なけがや体調不良の手当てをすること。この機会に、けがを防ぐために気をつけることをご家庭で話し合ってみてください。また、救急箱も要チェックです。

交通ルールを守って、事故を防ぎましょう

1～14歳の子どもの死亡事故で最も多いのは交通事故です。小さいころから交通マナーを伝えることが、子どもの命を守ります。

ニコモチェック ①

駐車場も注意

事故は駐車場でも起こります。道路や駐車場など、車が多い場所では、必ず手をつないで歩く習慣をつけましょう。



ニコモチェック ②

自転車の死亡事故も多い

自転車に乗っているときの事故も増えています。スピードを出さない、曲がり角では停止するなど、自転車のルールもしっかり伝えましょう。

交通事故を防ぐために心がけたいこと

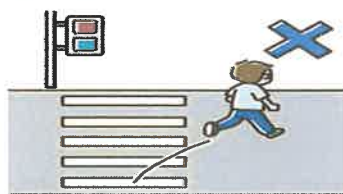
① 普段から交通ルールを教えましょう

朝夕の送り迎えは、交通ルールを学ぶ大切な時間。横断歩道を渡ること、歩道から飛び出さないこと、信号の意味などを伝えましょう。



② 大人もルールを守りましょう

急いでいると、信号を無視したり、道路を横切ったりしたくなりますが、子どもは見ています。みんなが交通ルールを守りましょう。



③ 事故を招かない工夫をプラス！

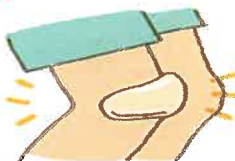
- 大人が、子どもの事故を防ぐことも大切です。
- 道路の反対側から子どもを呼ばない
- 後部座席はチャイルドロック
- 道路で遊ばせない
- チャイルドシートやシートベルトを正しく使うなど、できることはたくさんあります。



これで安心！

ちょっとしたけがのケア

元気な子どもは小さなすり傷や切り傷がしやすいもの。化のうさせずに治す方法を知っておきましょう。



ウェットタイプの絆創膏は使い方をチェック！

モイストタイプ（ハイドロコロイド素材）の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守って使いましょう。

① 手当てする大人がまず手を洗う

手から汚れがうつるのを防ぎます。

② 傷口を流水で洗う

流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを取り除きます。とげなどが刺さっているときは、毛抜きで抜き取ってから流水で傷を洗いましょう。

③ 傷口を保護する

絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェックしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けない、傷がなかなか治らないときは、病院へ！

先月の感染症

胃腸炎（感染性含む）： 11名

ヘルパンギーナ： 1名

百日咳（疑いを含む）： 1名

マイコプラズマ肺炎（疑い含む）： 3名

※8月末より胃腸炎の症状の園児が多くみられます。登園基準はありませんが【熱がない・丸1日嘔吐がない・便がいつもの状態くらいまで戻っている・食事が摂れ元気】が目安となります

また、他の病気でも病院で診断を受けたり、入退院をされた場合はご連絡をおねがいします

